



女だけの部屋

河上敬子 著

四季社 版

女だけの部屋

昭和三十一年九月二十五日 初版発行  
昭和三十一年十月十日 八版発行

定価 二二〇円

著者 河上敬子

発行者 松本國雄

印刷者 野田孝太郎

東京都千代田区神田旅籠町二ノ六

発行所 株式會社 四季社

電話神田(25)〇九九五番  
振替口座東京二〇一九三番

(落丁乱丁等の場合は本社  
でお取替えいたします)

## 花束を贈る

徳川夢聲

専門家というものは尊い。

私は専門家を尊敬することは人後に落ちるものではない。

しかし、とかく専門家というものは、おそろしく視野が狭い。例外はあるけれども大体において自分の専門以外のことに關しては無知である。しかも困ったことには、その無知であることを誇っているかに見える人すらある。

この本の著者は病理学の専門家である。が、同時に女優である。病理学が単に研究室のなかでだけという専門家も、勿論、尊敬に値する。同時に撮影

所のなかにまで、その研究が進出するという専門家も、更にまた結構ではあるまいか。

両兎を追うものは一兎をも得ず、とは昔から真理とされていた諺であるが、しかし、それも獵師の腕前いかんによることであつて、まず片方をさきに追ひこんでおいて、更にもう一方を追い込む、そして前後して両方とも捕えることも出来るわけだ。

願わくば医学博士の大スターとならんことを。

目次

花束を贈る

徳川夢聲

一

A

女だけの部屋

一三

女優ABCライン

二三

女だけの部屋

二五

私も平凡な女である

三

女優裁判

三六

女優心中未遂事件以後

四

B

足の裏の性感

五三

男性有用論

一才から五才までの性慾

女体の經濟価値

あなたの足が第一

恋愛と性腺の道樂的仕わざ

オッパイの魅力

八等身時代

子宮無用論

二十一世紀の恋病いは薬で全快する

小砂利をはじきとばす小便

ビジン・ザ・シビン

タバコと性慾

タバコの病理学

天 三 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

ニキビをきらう恋人たち

一〇一

性生活と血圧

一〇三

ホルモンの効用

一〇六

処女の価値学

一〇九

人妻の魅力

一一三

女の純情と行動

一二七

初恋はあなたのホルモンのいたずら

一二三

## C

耳の衛生

一三一

集団検診では異常なかつたが

一三三

疲れとじんましん

一三六

目が充血して疲れ易い

一三八



D

三等車に乗っている週刊雑誌

女の悪徳について

一生添うべきでない夫婦

軍人未亡人

醜女払底

女レスラー

ラブレター批判

中年男の魅力

三十女の沽券

新しい結婚観

宗教亡国論

一四三

一四〇

一三五

一五五

一六〇

一六五

一七〇

一七五

一八〇

一八五

一九〇

クイズの特効

一六

E

河上敬子を解剖する河上敬子

一八

濡れた舗道

一九

ところてん

一九

お茶

一九

前橋紀行

二〇

お好み焼屋のこと

二〇

爆発する銀紙玉

二〇

月賦時代

二〇

ネオンサイン

二二

そばの話

二三

太陽熱

三九

菜食

三三

晴算

三五

背骨よどこへいつたか

三八

空気の憂鬱

三三

河上君のこと

石川利光  
三三

# 女だけの部屋



**A**



## 女だけの部屋

### 女優ABCライン

男がたとひ家の門を出れば七人の敵（女）にぶつかり、世の奥様方に旦那様の浮気を警告しているコトバがある。撮影所という特殊地帯は同様な意味で誘惑の多いのは事実である。

まして女優という名の弱い立場には、いつもそれがつきまとう。どんな場合にどんな風にこの危機を切抜けるか、ということはひとりの女優にとつて大きな問題である。

解剖台で死体にメスを入れていた私が、映画という世界で生きた人間の心理と取組む仕



事に入つてから二年近くになる。この撮影所に関する数篇はそのあいだ私の身边を取りまいた色々の出来ごとを書き綴つたものである。

今後私は私なりに、女優としての道も歩んで行きたいと思つてゐる。この女優生活に関する数篇は書かなくてはならない、という切端つまつた立場におかれたものでは勿論ない。たまたま出版に先だつて内容の一部が紹介されたところ大きな反響を呼んで驚かされたり抵抗を感じ削除したものもある。しかし、とかく世間からは特異の眼でみられる女優生活の一端を窺い知る上になんらかの役割を果すのではないかと思う。もちろん登場人物のイニシアルは全部仮名である。